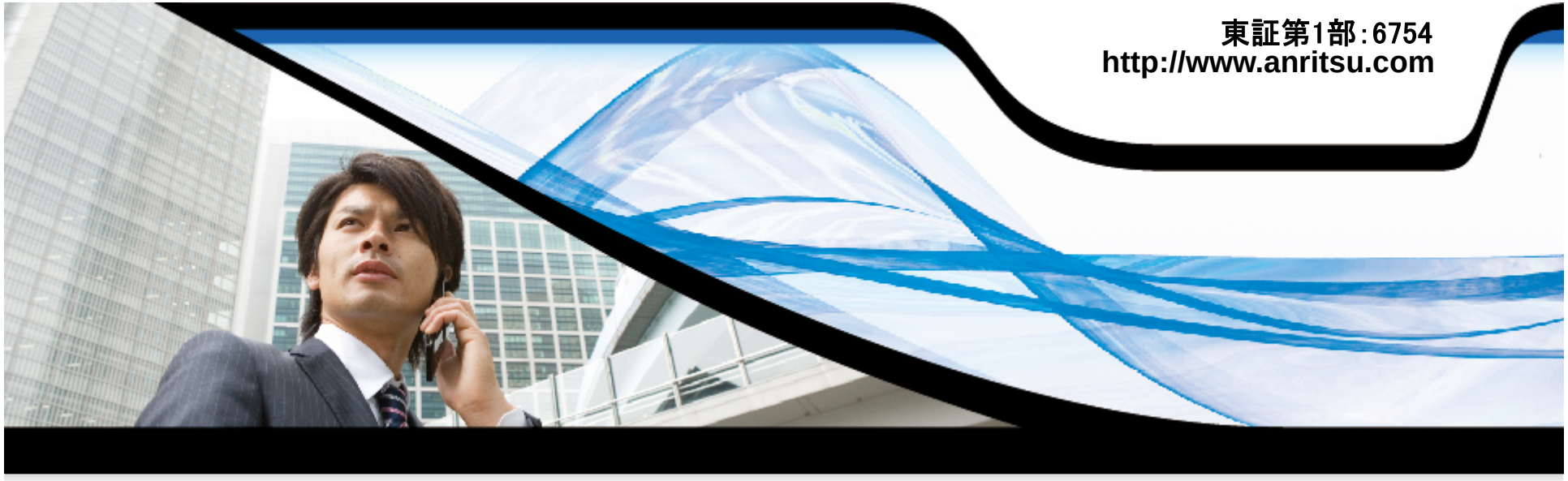
2013年3月期 第1四半期業績概要

2012年 8月1日

アンリツ株式会社
代表取締役社長　橋本　裕一

東証第1部：6754
http://www.anritsu.com



Copyright© ANRITSU

注　記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

Copyright© ANRITSU

目　次

Ⅰ. 2013年3月期 第1四半期 業績概要
Ⅰ-1. 事業概要
Ⅰ-2. 連結決算概要
Ⅰ-3. 2013年3月期 通期見通し

Ⅱ. 国際会計基準と経営力強化
Ⅱ-1.　国際会計基準IFRSの導入
Ⅱ-2. ユーロ円建転換社債の繰上げ償還
Ⅱ-3. 中長期の財務体質改善目標

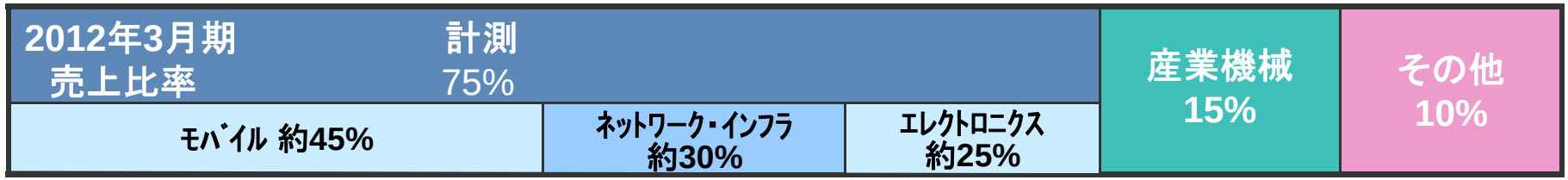
Appendix

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-1. 事業概要 - 事業セグメントの呼称と事業内容 -

セグメント	サブセグメント	事 業 内 容
計測	モバイル市場	LTE、3Gなどの携帯端末、チップセットの開発・製造・保守用テスタなど
	ネットワーク・インフラ市場	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスタ、有線および無線ネットワークの敷設・保守用テスタ、サービスアシュアランスなど
	エレクトロニクス市場	無線設備、電子部品等の開発・製造用テスタ、汎用テスタなど
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機、電気機器プリント板向け精密計測など
その他		通信機器、通信応用システム、光デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸など

（注） 2013/3月期から情報通信事業セグメントを、その他セグメントに統合しています。



Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

モバイルブロードバンドサービスを成長ドライバとして計測事業が順調に推移

セグメント	2013年3月期 第1四半期の状況
計測	・モバイル関連の計測需要が継続 （スマートフォン向け開発/製造用計測など） ・エレクトロニクス関連の汎用計測は低調
産業機械	国内外ともに堅調
その他	総じて堅調に推移

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 第1四半期業績サマリー -

大幅な増収増益を達成

（単位：億円）

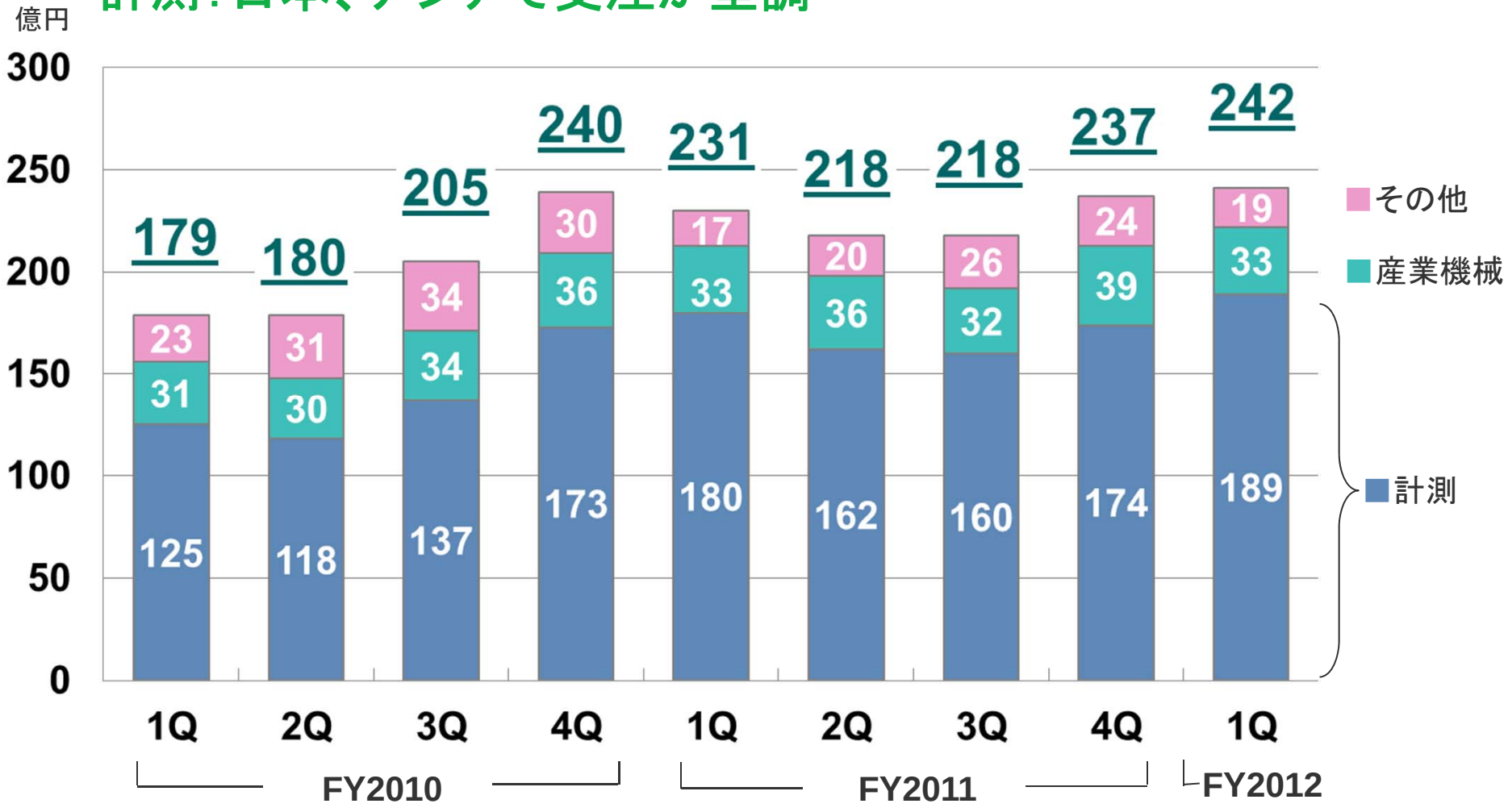
	前第１四半期(4-6月)実績	当第１四半期(4-6月)実績	前年同期比増減額	前年同期比増減率(%)
受注高	231	242	11	5%
売上高	196	216	20	10%
営業利益	28	40	12	43%
税引前利益	25	36	11	44%
当期利益	17	25	8	47%
当期包括利益	15	17	2	16%
フリーキャッシュフロー	32	41	9	28%

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

計測：日本、アジアで受注が堅調



（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

計測事業のモバイル関連ビジネスがけん引

（単位：億円）

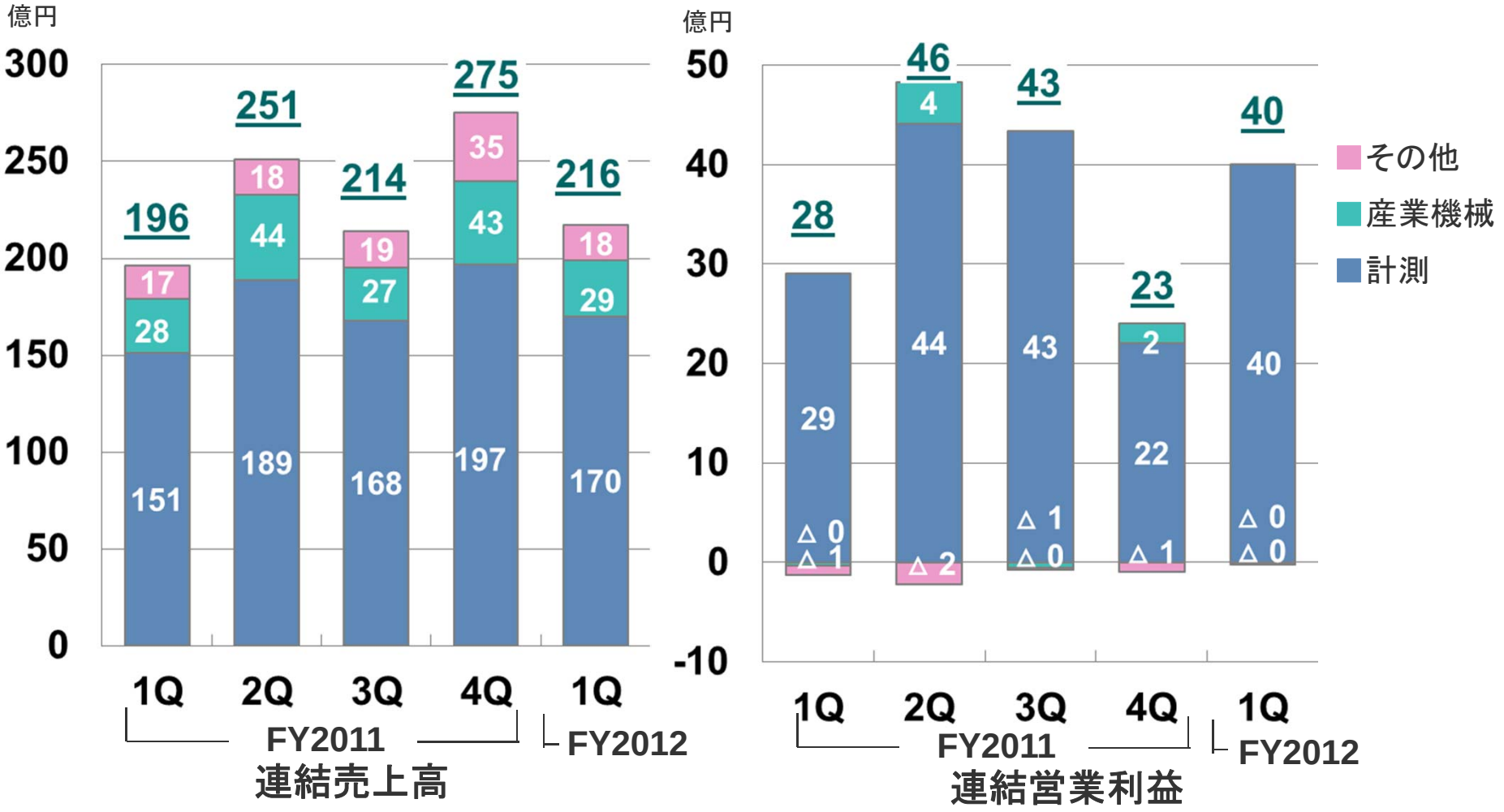
		前第１四半期 (4-6月)実績	当第１四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測	売上高	151	170	19	12%
	営業利益	29	40	11	39%
産業機械	売上高	28	29	1	1%
	営業利益	△0	△0	0	-
その他 (含：内部消去)	売上高	17	18	1	6%
	営業利益	△1	△0	1	-
合計	売上高	196	216	20	10%
	営業利益	28	40	12	43%

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業損益 -

連結営業利益率：18.5%、計測営業利益率：23.6%

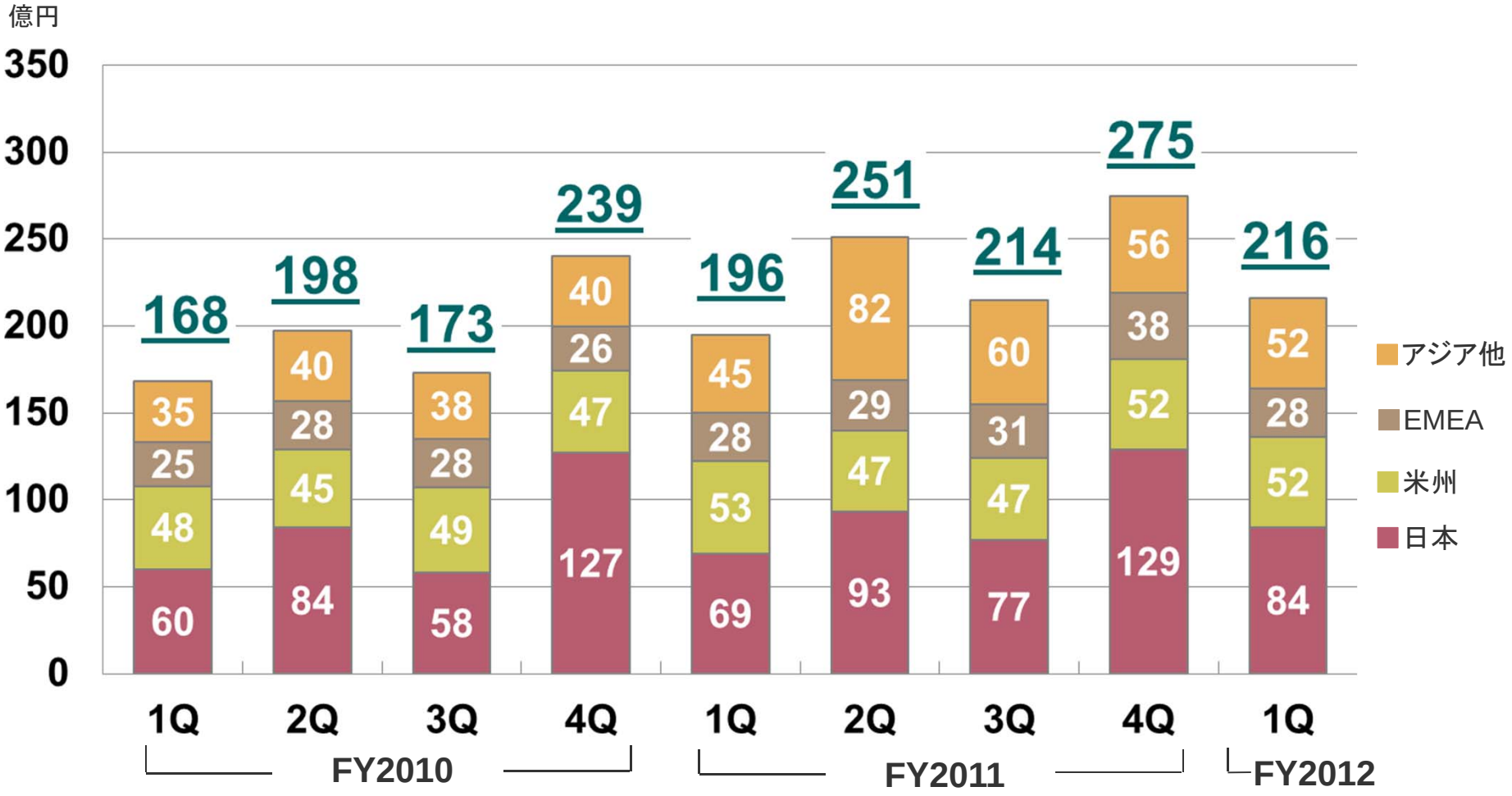


（注）値はそれぞれの欄で四捨五入、FY2011 2Q～4QはIFRS未監査（参考）

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

日本とアジアが、対前年で増収



（注）値はそれぞれの欄で四捨五入、FY2011 2Q～4QはIFRS未監査（参考）

Copyright© ANRITSU

Ⅰ-2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

着実にキャッシュフローを創出

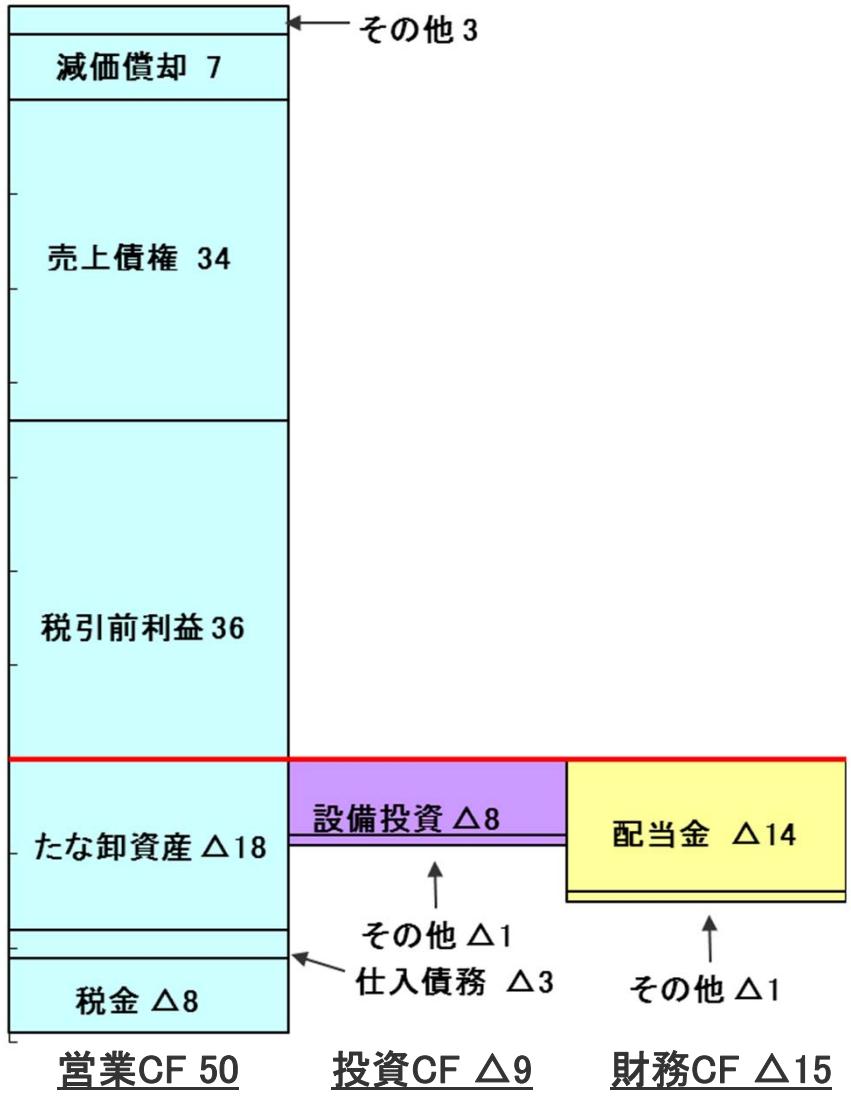
FY2012 1Q
①営業CF: 50億円
②投資CF: △ 9億円
③財務CF: △15億円

フリーキャッシュフロー
(①+②): 41億円

現金同等物期末残高
416億円

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

内訳　　単位:億円　△減少



Copyright© ANRITSU

Ⅰ-3. 2013年3月期　通期見通し(連結):IFRS

（単位：億円）

		2012/3期	2013/3期		
		当期実績 (IFRS監査済)	通期予想 (IFRS)	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		936	945	9	1%
営業利益		140	155	15	11%
税前利益		131	145	14	11%
当期利益		80	100	20	25%
計測	売上高	706	700	△ 6	△1%
	営業利益	138	140	2	1%
産業機械	売上高	142	150	8	6%
	営業利益	6	10	4	75%
その他*	売上高	89	95	6	7%
	営業利益	△ 4	5	9	-

（参考）想定為替レート:1米ドル=80円
1ユーロ=100円

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入
2013/3月期から情報通信事業セグメントを、その他セグメントに統合しています。

Copyright© ANRITSU

Ⅱ. 国際会計基準と経営力強化

Ⅱ-1. 国際会計基準IFRSの導入

Ⅱ-2. ユーロ円建転換社債の繰上げ償還

Ⅱ-3. 中長期の財務体質改善目標

Copyright© ANRITSU

Ⅱ-1. 国際会計基準IFRSの導入

透明性を拡大し、新たな財務体質の改善目標にチャレンジ

当四半期より IFRSで報告

- 世界標準での開示
- グローバルな市場・顧客・競争に対応
- リスクを前倒しで認識

純資産額の減少

- 純資産：85億円減少
  -退職給付会計：△93億円
  -R&D資産化 等
- 自己資本比率の低下（48.5%→42.1%）
  （2012.3.31現在の影響額）

財務体質強化促進

- ROE20%以上の実現
- 自己資本比率の一層の改善
- 格付A復帰へ

Copyright© ANRITSU

Ⅱ-2. ユーロ円建転換社債の繰上げ償還

社債残高 31億円 の『繰上償還の権利』を行使します

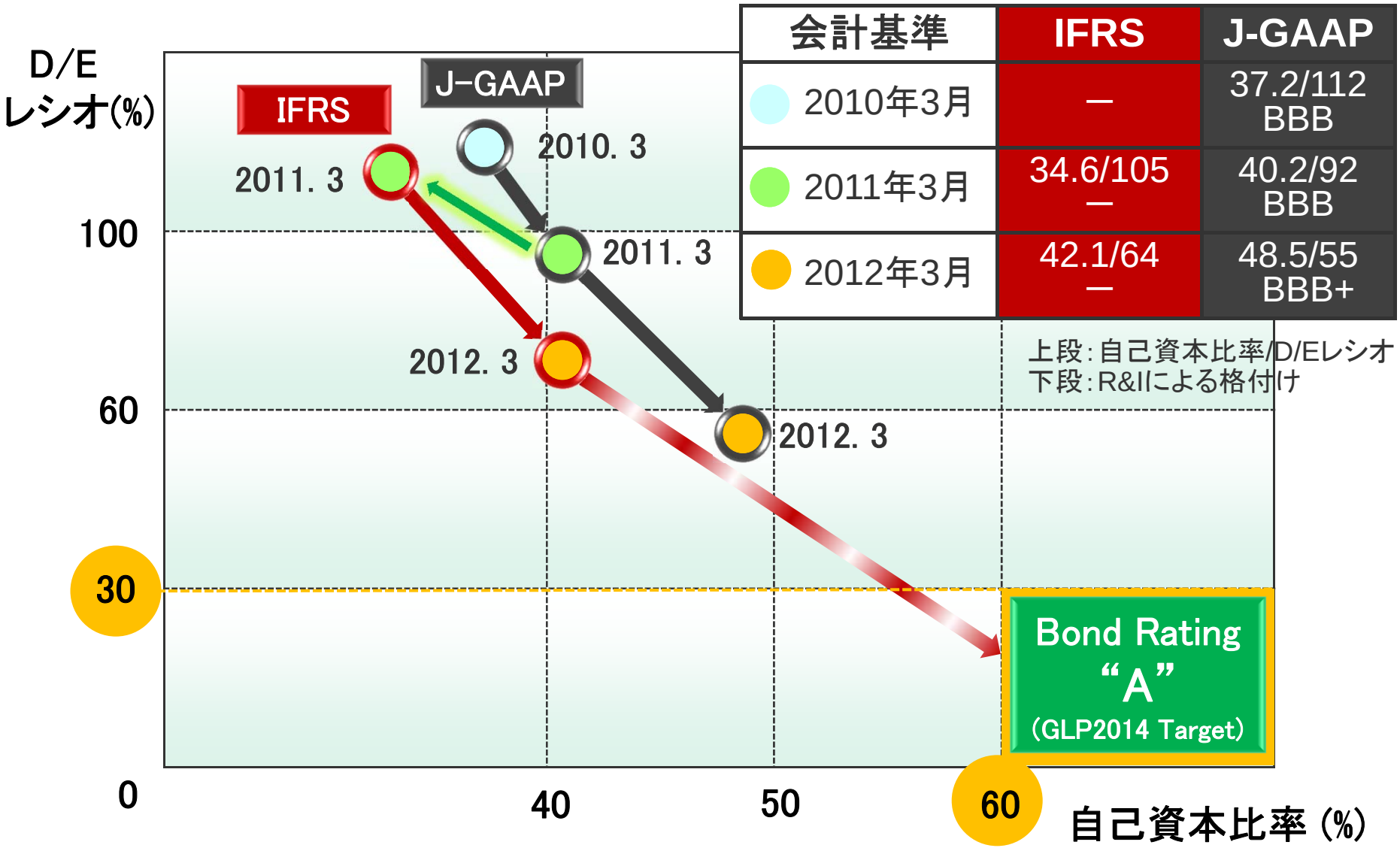
年月	転換価格	転換額	株式数
2011年3月			128,042,848 株
2012年3月	629.0円	61億円	+9,697,933 株
2012年6月	627.4円	7億4,000万円	+1,179,,470 株
2012年9月（見込み）	627.4円	31億6,000万円	+5,036,659 株
計*（見込み）		100億円	144,004,897 株

（注）：合計の株式数には、その他の新株予約権の行使による増加分も含みます。

コールオプションの権利行使：
20 連続取引日（6月18日～7月13日）にわたり、転換価額の130%以上であったため、社債残高をその額面金額の100%で繰上償還する権利を行使します。

Copyright© ANRITSU

Ⅱ-3. 中長期の財務体質改善目標



会計基準	IFRS	J-GAAP
2010年3月	—	37.2/112 BBB
2011年3月	34.6/105 —	40.2/92 BBB
2012年3月	42.1/64 —	48.5/55 BBB+

上段：自己資本比率/D/Eレシオ
下段：R&Iによる格付け

Copyright© ANRITSU

2020 VISION

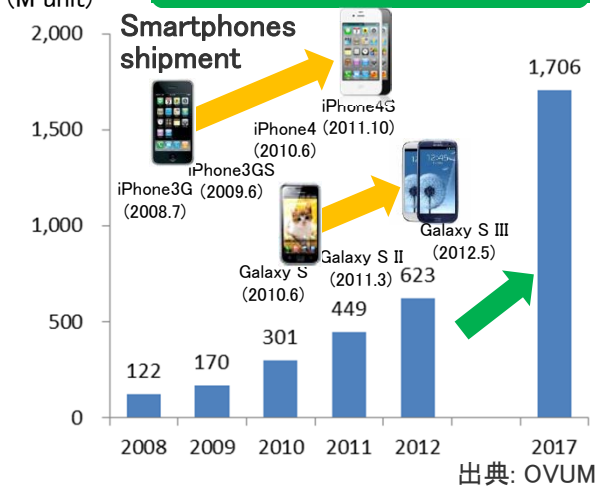


Copyright© ANRITSU

Copyright© ANRITSU

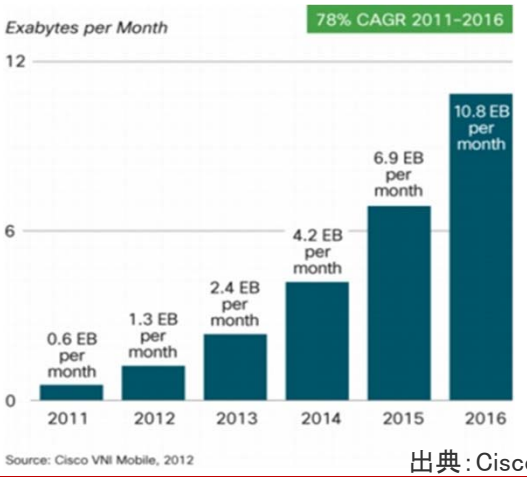
Appendix (1) – モバイル市場の動向と5つのキーワード –

スマートフォンの普及 + **アプリの高度化** = **トラフィックの急増**

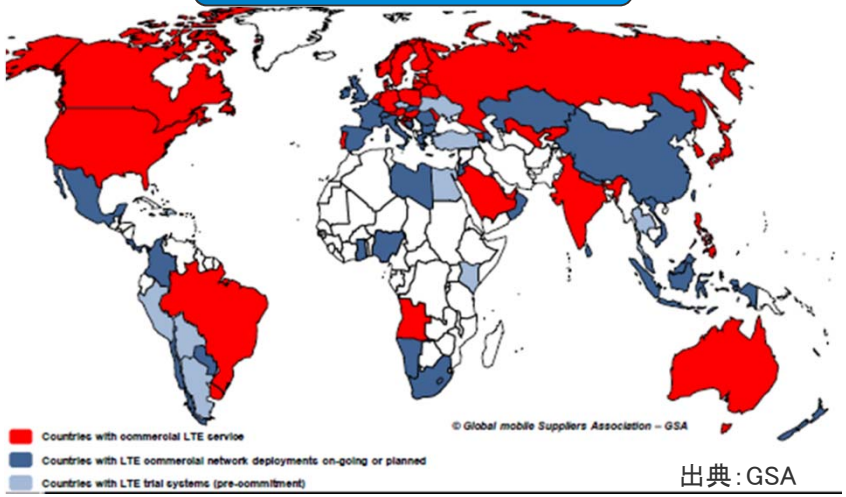




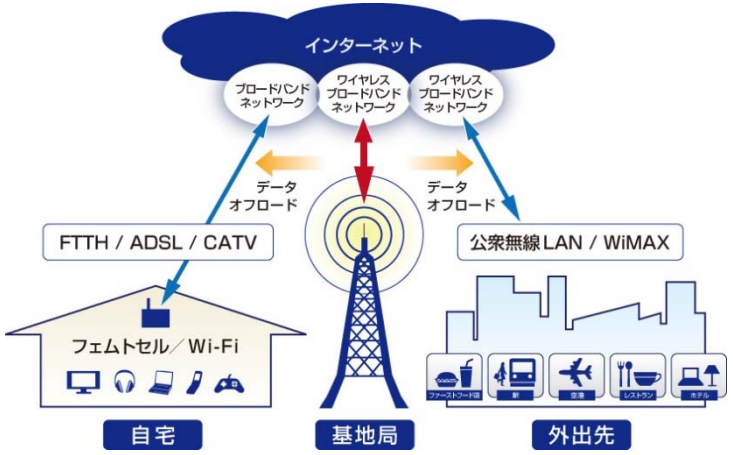




LTEサービスの拡大



WiFiデータオフロード



Copyright© ANRITSU

Appendix (2) – R&D・製造市場のモバイル計測ビジネスの相違 –

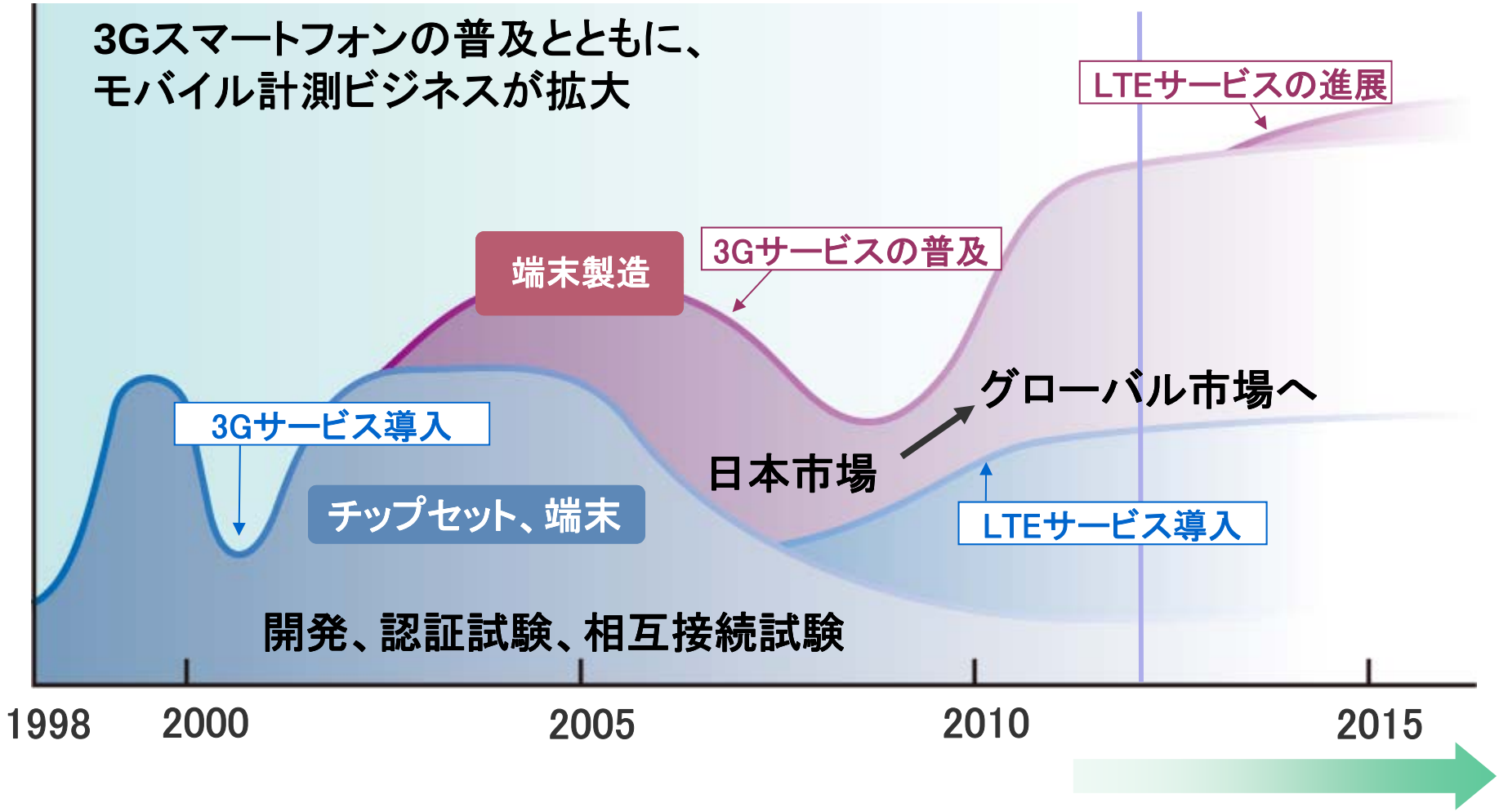
	R&D市場				端末製造市場	
	チップセット、端末の規格、方式開発			商用開発		
分野	コア開発	規格適合試験・相互接続試験	オペレータ受入試験	アプリ開発向けパフォーマンス試験 -スループット -消費電流、等	専用ワンボックステスタ	汎用計測器（専用ソフトウェア）
主要通信規格	**LTE** （FDD-LTE, TDD-LTE）			**3G/LTE**	**2G/3G/3.5G** （GSM/EDGE, CDMA, W-CDMA, HSPA, TD-SCDMA）	
顧客	チップセット/端末ベンダー	チップセット/端末ベンダー、テストハウス、通信事業者	テストハウス、通信事業者	端末ベンダー、アプリケーション開発事業者	端末ベンダー、EMS(elec. mfg. services)	
地域	米国, 欧州, 日本, 韓国, 中国				アジア	
製品						ー

Copyright© ANRITSU

Appendix (3) – モバイル計測ビジネスのトレンド –

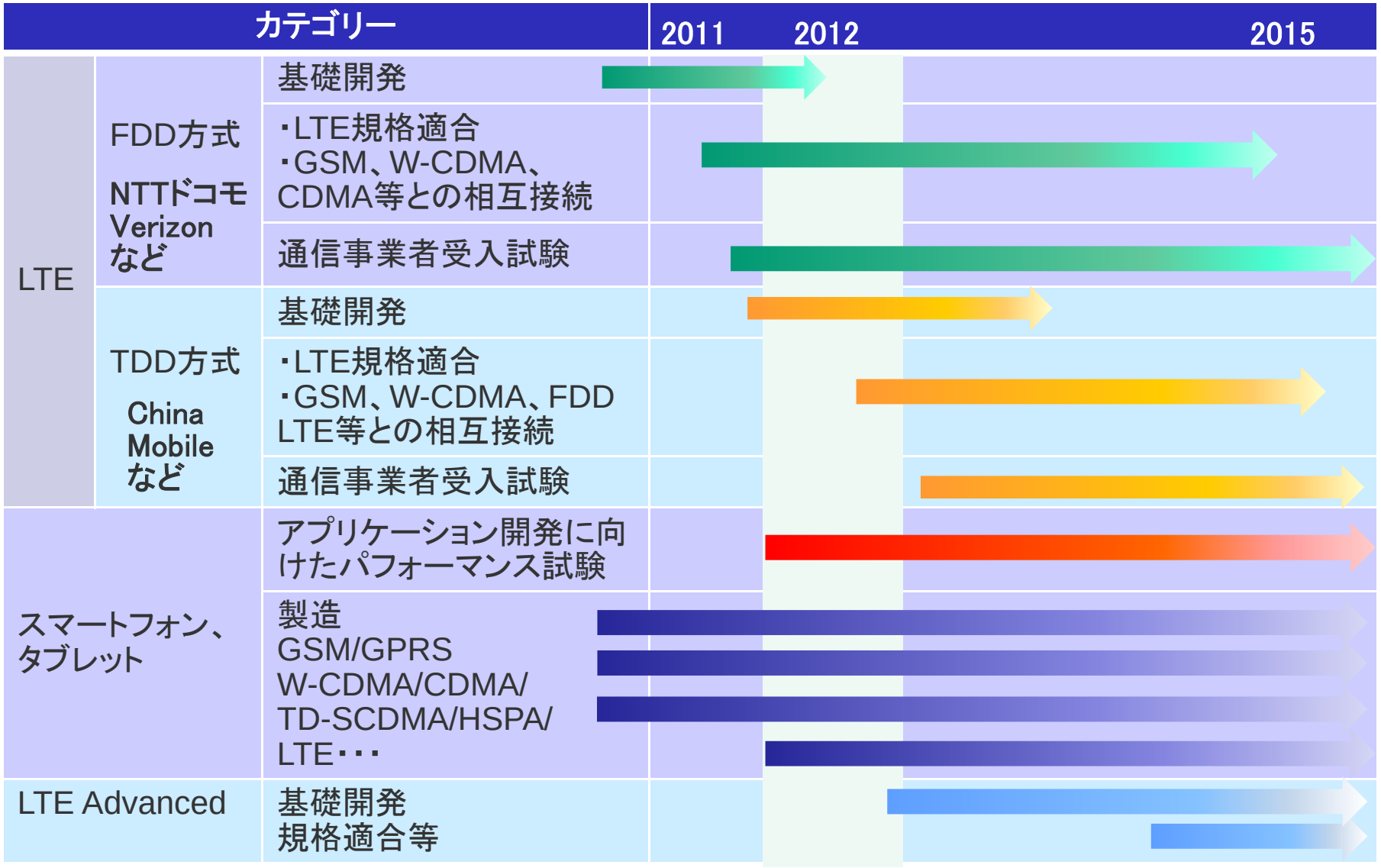
モバイル計測市場(当社推定):1,000-1,100億円

売上高　　**(製造:700-800億円、R&D:200-300億円)**



Copyright© ANRITSU

Appendix (4) – モバイル分野計測ビジネスの現状と今後 –



Copyright© ANRITSU

Appendix(5) - 3カ年経営計画 GLP2014 目標数値 -

国際会計基準 IFRS

GLP2014

指標		FY2011	FY2012	FY2014
売上高		936 億円	945 億円	1,100 億円
営業利益		140 億円	155 億円	190 億円
当期利益		80 億円	100 億円	130 億円
ROE		19.5 %	20 %	20 %
ACE		52 億円	70 億円	90 億円
計測	売上高	706 億円	700 億円	800 億円
	営業利益	138 億円	140 億円	160 億円
産業機械	売上高	142 億円	150 億円	180 億円
	営業利益	6 億円	10 億円	15 億円

（注）ACE（Anritsu Capital-cost Evaluation）：税引後営業利益－資本コスト

Copyright© ANRITSU


Anritsu
Discover What's Possible™